



は〜もに〜

個性と個性が生みだす調和

まちづくり推進課（内線311）

自分らしく

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）でいきいきと！

岐阜県では、従業員の「仕事と家庭の両立支援」や「女性の活躍推進」などの取り組みが、特に優れている企業を「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」として認定しています。

平成30年度にこの認定を受けた建設用足場工事会社の向陽信和株式会社（泉町久尻）の取り組みを、今月と2月の2回にわたりクローズアップします。



時間外勤務時間数が建設業界の平均と比較して断然少なく、有給休暇の取得率もほぼ100%と数字で明確に示せるので、採用活動に成果が出ています。

向陽信和株式会社
代表取締役社長
古澤一晃さん

「長時間労働が当たり前」の建設業界で労働時間削減の改革に着手！

以前は現場の仕事を終えて会社に帰ってきてからも、翌日の資材準備などで残業するのが当たり前でした。社内の雰囲気や従業員の家族のことを考えると「これではいかん！」と労働時間短縮に取り組み始めたそうです。

時間外労働削減の取り組み

午後7時までには全員退社
受注の選別により、時間外労働を削減

休暇取得促進の取り組み

休日の一部について、出勤しなくても日当換算の7割の給料を支給するという制度の確立



休日出勤が減少し、従業員がしっかり休暇を取得

ようこそ手話の世界へ

福祉課（内線217）



かんたん手話講座 手話で話そう！

明けまして



開いた両手の人差し指を正面で上下に並べる



おめでとうございます



握った拳を上げながら開く



手話ワイプ情報（県議会・県政ホットライン）
平成30年4月に「岐阜県手話言語の普及及び障害の特性に応じた意思疎通手段の利用の促進に関する条例（岐阜県手話言語条例）」（以下「条例」と略します。）が施行されました。条例第10条には「県は、（中略）障害の特性に応じた意思疎通手段による情報の発信に努めるものとする。」とあり、これによって県が発信する情報については、手話通訳が付けられることになりました。

知事の記者会見や行事に手話通訳が付き、ろう者は手話で情報を得られるようになりました。こうした情報取得のバリアフリー化は近年盛んに導入が進んでいます。
テレビの端に手話通訳の枠があるものを手話ワイプと言います。条例施行以降、県議会中継や県政ホットラインには必ず手話ワイプがあり、県内で活動している手話通訳者が担当しています。
情報取得のバリアフリー化が進んでいけば、ろう者はもっと積極的に社会進出ができるのではないのでしょうか。